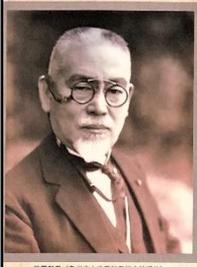


【地域史研究講座 2022】

後藤新平から読み解く近代史

ONLINE併催でYouTube配信もしている標記講座の第3回目が、3月20日に「えさし郷土文化館」において開催されました。今回は後藤新平にも着目したため、館長と学芸調査員も出演させていただきました。

【地域史研究講座 2022】

地域史研究
講座 2022

奥州市教育委員会
えさし郷土文化館



えさし郷土文化館公式 YouTube チャンネルにて無料視聴可能
協力/国立歴史民俗博物館 メタ資料科学研究センター
産学官連携に基づく地域資料継承支援事業
合同会社 AMANE



この講座では、地域史に関わる各分野の史資料や研究成果を広く「公開」「発信」「共有」する目的で実施し、総合資料科学的な観点から奥州市や胆江地方の文化を再認識するとともに、新たな知見を学ぶ機会にしようとするものです。

奥州市教育委員会とえさし郷土文化館との共催で、国立歴史民俗博物館メタ資料科学研究センター、産学官連携に基づく地域資料継承支援事業、合同会社AMANEの協力を得ています。

第3回：「後藤新平から読み解く近代史」：令和4年3月20日（日）13時00分～16時00分

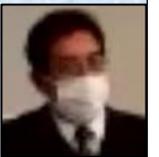
※「趣旨説明」 野坂 晃平 えさし郷土文化館課長補佐・学芸員

この講座は、奥州市内で行われた資料調査の成果について、広く共有するものであり、対面講座に加え、オンライン配信（YouTube）をします。地域史を構成する資産として、あらゆる分野の資料をも見逃さない。総合資料科学的観点を重視しています。資料が広く公開されることが「資料保全」の第一歩とすべく、地域資料をグローバル化し、情報発信に努めます。先人研究については、地域に生まれ、地域と深い関わりを持つ市内・県内・国内外で活躍した人物、知名度の高い、いわゆる「偉人」だけではなく、地域に事績を残した人物も対象としています。



※「後藤新平の生涯を貫く信念」 佐藤 彰博 後藤新平記念館館長

後藤新平は、どんな役職に就いても、ぶれない信念がありました。今日は、「後藤新平の生涯を貫く信念～人材登用そして『自治と教育と衛生』～というテーマで、東京市長就任前と東京市長時代の実践とを織り交ぜながら、お話をさせていただきます。（・・・中略）新平の生き方の柱は、少年時代の生活に大きな影響を受けているものと思われます。貧しい環境で育ち、戊辰戦争後は「賊軍」・「朝敵」と呼ばれた新平は、自らの人生を自らの力で切り拓かねばなりません。そのため、火の出るような勉学に励みます。（・・・中略）少年時代、新平を取り巻いた生活環境そのものが、その後の新平の仕事の根幹をなしていたものであることがわかります。



※「オンライン版後藤新平文書刊行の意義」 伏見 岳人 東北大学大学院法学研究科教授

今回、マイクロフィルム版・DVD版の内容に加え、後藤新平記念館所蔵の未収録資料・新規寄贈資料、更に市政専門図書館所蔵の関連資料も包括的に収録し、オンライン版として刊行しました。これによって、近現代史に大きな足跡を残した後藤の更なる立体的な研究が可能となります。また、全4冊の「後藤新平伯伝記編纂会日誌」には、1930年12月3日から1937年8月14日まで、事務局の動きが詳しく綴られています。近年、後藤新平記念館内で発見されたこの日誌には、伝記編纂会会長であった斎藤實が凶弾に倒れた二・二六事件当日の緊迫した状況も記されています。こうした伝記編纂会資料を通じて、この伝記の編纂過程を詳細に追跡することが可能となりました。



※「後藤新平文書のアーキビストとして」 中村 淑子 後藤新平記念館学芸調査員

後藤新平文書を研究する研究者、論文資料の調査に来る学生さん、一般のお客様への橋渡しの仕事をするのが私たちの仕事です。本日は、「後藤新平文書」の原資料を紹介することで、より後藤伯に迫りたいと思います。



【HPデザイン刷新】

HPデザインが、がらりと変わりました。「新着情報」には、企画展やテレビ放映予定等も掲載します。お見逃しなく。